

設立趣旨書

近年、まちづくりの推進にあたっては、市民が主体になることや多くの主体が参画することに加えて、専門性、戦略性、多分野横断性、開放性という点が重要視されるようになっていきます。すなわち、1) 行政と市民の間に入り、より専門的な技術や知識をもって、地域のまちづくりや市民活動を支援できること（専門性）、2) 将来ビジョンに基づき目標実現のための事業展開やプロセスを考えられるようになること（戦略性）、3) 景観、みどり、健康福祉、観光、文化財、教育など多分野にまたがるまちづくりの課題解決を目指し、関連する組織や団体の横つなぎができること（多分野横断性）、4) 来街者、市外の専門家・まちづくり等の団体との交流があること（開放性）が、大事であると考えます。

そこで、私たちは、当法人の前身組織である市民団体「まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎」のコアメンバーに、まちづくりに関する専門的な知識やまちづくりに資する技能・特技を有するメンバーを加え、「アーバンデザインセンター・茅ヶ崎（UDCC）」を組織し、次のような内容に取り組むこととしました。

景観形成、健康増進、観光振興、地域教育など多方面に対して、起点となる行為としての「まち歩き」に着目し、そのための資源発掘、多様なまち歩き機会の提供、市内外へのプロモーションなどの事業を実施します。

また、茅ヶ崎市の良好な景観形成に必要な業務を行うために、茅ヶ崎市景観計画に定められた景観整備機構の指定を目指します。そして、まちづくりの活動を展開し情報を発信する拠点施設の設置に向け、多方面に働きかけていきます。

まちづくりは、一法人でできるものではありません。「アーバンデザインセンター・茅ヶ崎（UDCC）」は、まちづくりに取り組む公益性の高いNPO法人として、常に行政、自治会、市民団体等から信頼される縁の下の力持ちとなれるよう諸活動に取り組む所存です。

平成28年4月10日

特定非営利活動法人 アーバンデザインセンター・茅ヶ崎

設立代表者 高見澤 和子